

2017年1月1日から2017年12月31日までに「真庭保健医療圏」および「高梁・新見保健医療圏」から転院搬送された患者さんへ

高次医療機関への転院搬送症例分析による岡山県北西部の医療現状研究

1. 研究の対象

2017年1月1日から2017年12月31日までに「真庭保健医療圏」および「高梁・新見保健医療圏」から転院搬送された患者さんが対象です。

2. 研究目的・方法

研究目的：第8次岡山県医療計画では、岡山県は「県南東部保健医療圏」、「県南西部保健医療圏」、「津山・英田保健医療圏」、「真庭保健医療圏」、「高梁・新見保健医療圏」の5つの二次保健医療圏に分かれています。その中で岡山県の北西部に位置する「真庭保健医療圏」および「高梁・新見保健医療圏」は圏域内に高次医療機関が存在しない地域です。これら2つの保健医療圏からは県内各高次医療機関に重症症例のみならず中等症例も少なからず転院搬送されています。地域では医師や看護師など医療従事者の不足が言われていますが、これらの転院搬送症例を、転院搬送元医療機関の地理的条件や人的物的な医療資源、重症度、緊急度などの面から分析し岡山県北西部の医療現状を明確化した上で、今後の地域医療支援のあり方を検討することを目的としています。

方法：当該地域消防署（真庭消防署、新見市消防署、高梁市消防本部消防署）の所有するデータおよびドクターヘリ搬送記録と診療録を基に、転院搬送元各医療機関から高次医療機関ごとの転院搬送症例数を集計します。各症例については、時間的要素（曜日、時間帯等）、搬送経路（空路、陸路）、搬送時間を抽出し、消防の把握している転院搬送元医療機関でのバイタルサイン（意識レベル、血圧、脈拍、酸素飽和度等）による緊急度・重症度、疾患分類による緊急度・重症度、転院搬送を決定した理由やタイミング等から、各転院搬送元医療機関、各二次保健診療圏、および県北西部全体で分析することで岡山県北西部に不足している医療資源（人的、物的、その他）を洗い出し、岡山県北西部に今後必要な医療支援のあり方を検討します。

研究期間：倫理委員会承認日 ～ 西暦2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報について

利用するカルテ情報には、以下のものが含まれます。

診断名、搬送日時、搬送元医療機関でのバイタルサイン（意識レベル、血圧、脈拍、SpO₂、酸素投与量）、搬送経路（空路、陸路）、搬送時間、搬送先医療機関でのバイタルサイン、等

本研究は、治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体資料は採取しません。個人が直接特定されうる情報は匿名化を行った後に解析致します。データ等は論文などの発表から5年後に破棄致します。

4. 利益相反

研究に必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断にひずみが生じかねないことを利益相反状態といいます。本研究は川崎医科大学利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。また本研究は研究者の教員研究費で行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岡山県倉敷市松島 577

電話 086-462-1111

FAX 086-464-1044

E-mail: kinopapa1958@yahoo.co.jp

川崎医科大学 救急医学 木下 公久 (研究責任者)